

★初めて手にした25色のクレヨン



中国製のクレヨンが主流となっているガーナ。子どもたちは、それを(カラー)と呼び、色鉛筆も(カラー)と呼んでいます。英語の教科書には「くれよんはありますか?」と店主に尋ねるシーンが絵付きで載っていても、子どもたちは本当のくれよんを知りませんでした。今日まで、授業で、色鉛筆を持っていったり、ぺんてる様の20色くれよんは持って行ったことはあります。今回、協賛で戴いたくれよんが25色ということで、私自身も箱を開けるのにドキドキしました。「いっぱい色があるからいっぱい使っていいんだよ」の声掛けのもと、お絵かきがスタートしました。ひとつひとつ数え「25本ある～」と笑った子どもの顔が印象的でした。

「今日は、好きなものを描こう!! 例えば、好きな花。家族。食べ物。なんでも自由に描いてね」子どもたちの笑顔が、確実に明日につながっていると確信しました。ガーナの国旗を描く子どもが多くいました。家を描く子どもも半数近くいました。



色とりどりに描かれた家。もちろんこのような欧米スタイルの家に住んでいる子どもはいません。くれよんは夢があるからこのような家が描けるのだと思います。好きなサッカー選手を描いた子どももいました。今日、改めて色とりどりのくれよんは子どもたちに夢を与え、想像力を育むものなんだと実感しました。(10/11/2010)